

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English I		
英文授業科目名	Academic Written English I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 電子工学科 システム工学科		
担当教官名	田中 智子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
インターネットのブログやエジプトのスフィンクス、有名な映画など広範囲にわたる興味深いノンフィクションストーリーを、ある程度のスピードで読み、日本語を介さずに的確に理解できる力を高めます。また論理的なパラグラフを書くために必要な基本事項を学習し、英語による自己表現力の向上を目指します。即ち、読解力・語彙力をつけながら、英文を書く規則を学び、論理的な思考を養うことを目標とします。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
Reading Advantage 3 Casey Malarcher 著（センゲージラーニング社）

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

第1週 クラス分けガイダンス

第2週～最終週 各課ごとに概ね以下の項目に沿って進めます。

- Reading Section -

- ・ 様々なテーマに沿ったストーリーの速読と主要な語彙・熟語の確認 - 前後の文脈から意味を推測したり、語の生い立ちに関する学習も含む。
- ・ 主要な見解 (main idea) と詳細情報 (details) の両方をテキストの練習問題等を通じて把握 - スキミング・スキニングの訓練などを行う。
- ・ ペアやグループでのディスカッション

- Writing Section -

- ・ パラグラフの基本構造の確認 - 正しいフォーマット、主題文・支持文・結論の書き方を身に付ける。
- ・ 様々な書き方についての演習 - 人物・物事を描写して書く/ 経験したことを書く/ 説明文を書く。

- その他 -

インターネット等を利用した参考文献の講読及びディスカッションなど

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：以下の点を総合的に評価します。

小テスト/期末復習クイズ 40%、課題（授業中に指示）40%、出席/授業への積極的加 20%

評価基準：以下の到達レベル/条件をもって合格の最低基準とします。

- ・ 様々なテーマのストーリー（500語程度）をある程度以上のスピードで読むことが出来、かつ大意を的確に理解できる。
- ・ 平易な英語を使い、しっかりした構成で自分の伝えたい事を書くことが出来る。
- ・ 英文講読のために必要な語彙・文法に関する知識を習得している。
- ・ 決められた課題が全て受理されている。
- ・ 学期中3分の2以上の出席を満たす。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は授業時間の前後、または上記教務課共通e-mail で受け付けます。

【学生へのメッセージ】

英語は自分で苦勞して学習した分、確実に身につきます。従って、予習・復習は大切です。また、クラスでは皆さんの積極的な参加が不可欠です。五感を総動員し授業時間を十分活用して楽しく英語を学んで下さい。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】